

漁況予報 いわし

第 1 1 5 号

2003年 1～2 月漁期
(2003年1月 8 日発行)

＝ 概況 ＝

【まいわし】

主要定置網における11月のマイワシ総漁獲量は2.3トンで、大羽が大拳来遊した前年同期(393トン)の0.5%に過ぎませんでした。12月も200kg程度しかなく、同じく大羽が大拳来遊した前年同期(84トン)の0.2%でした。

一方、中型まき網(4統)は、まとまった来遊が無かったことから、いずれも漁獲はありませんでした。

2002年のマイワシ漁況は、一年を通じて極めて厳しいものとなり、総漁獲量も200トン強と前年(5780トン)の4%程度しかありませんでした。全国的にも大変厳しかった一年で漁獲量も5万トン程度で、TAC値(34万トン)を大きく下回りました。

いよいよ不漁期に突入した感のあるマイワシですが、漁獲物の主体が未成魚になりつつあるなか、1歳魚(2002年級群)の資源量に期待が持てないので、今年は昨年同様に厳しい状況になるでしょう。

【かたくちいわし】

主要定置網における11月のカタクチワシ総水揚げ量は、1トンで昨年同期(20kg)の50倍でした。このうち8割近くは岩での水揚げでした。12月は12トン程度の水揚げがあり、西湘地区での水揚げが目立ちました。

佐島地区のまき網は、両月ともまとまった来遊が無かったことから、漁獲はありませんでした。

2002年のカタクチワシ漁況は、マイワシと正反対で大変豊漁な一年でした。主要定置での水揚げも1,700トン程度で前年の3倍、まき網による漁獲も1,500トンで前年の2倍強ありました。

【しらす】

全般に不漁傾向で推移してきた相模湾のシラス漁ですが、11月に入ると三浦～片瀬にかけての東部地区で今年初めてのまとまった漁となり、100～600kg/統/日と好漁となり、この傾向は12月上旬まで続きました。奥部では、10月中旬から同100kg水準が11月に入っても継続して、さらに12月に入っても続きました。秋シラスの豊漁傾向は相模湾だけでなく、茨城～四国に至る太平洋側海域で軒並み平年を上回る模様でした。魚種組成はカタクチシラスが主体ですが、ウルメシラスやマシラスの混獲割合が昨年よりも高いようです。

2002年のシラス漁は春先から不漁傾向が続き、最近では珍しく秋シラスが比較的良かったという一年でしたが、総漁獲量は前年の半分程度と大変厳しいものとなりました。

＝ 予 報 ＝

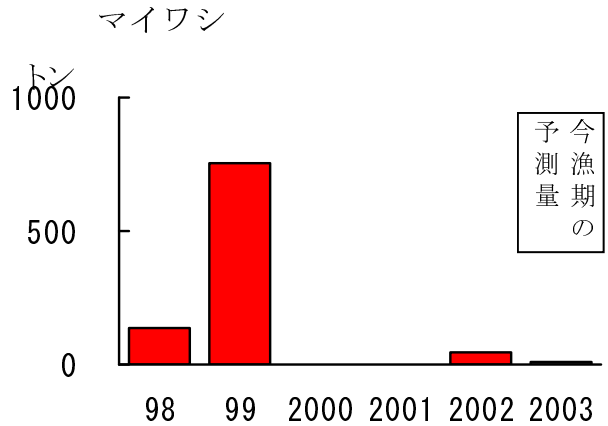
過去5年の1・2月漁期の漁獲量
と今漁期の予測量

まいわし

今漁期は、中羽イワシ(2002年級群)が漁獲の主体となり、定置網主体に散発的に入網するものと思われます。

今漁期の漁獲量は、約10トンと予測されます。

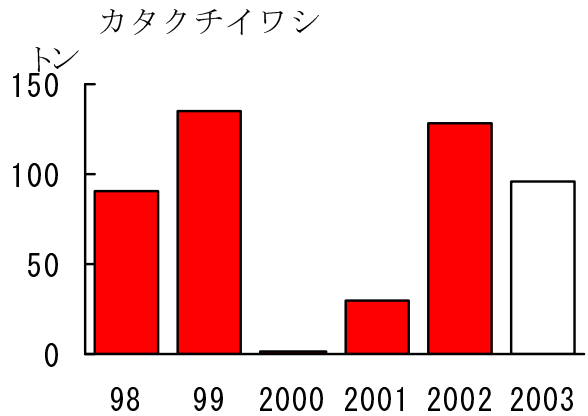
*縦軸：主要定置網+まき網



かたくちいわし

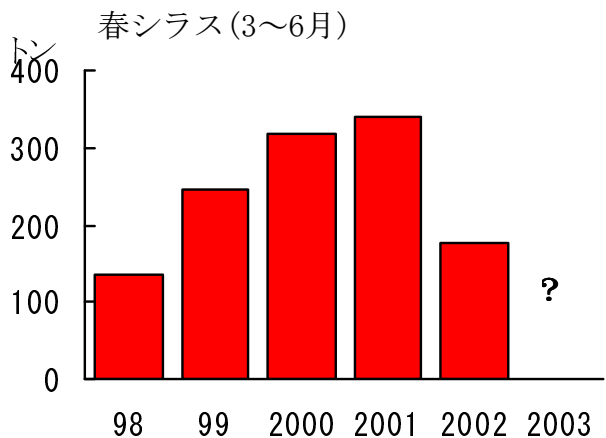
今漁期は、未成魚及び小型成魚が漁獲の主体となります。

今漁期の漁獲量は、約95トンと予測されます。



しらす

神奈川県の上ラス漁業は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では、解禁後の漁況予測のため、しらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、禁漁期間中に漁期前調査を実施します。今回は、逗子地区と藤沢地区の上ラス漁業許可船を使用させて頂くことになりました。ありがとうございます。次号で経過報告をします。



本年もよろしくお祈いします!

神奈川県水産総合研究所 資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (0468-82-2313)